

支部長・幹事長挨拶

◆支部長あいさつにあたって…



支部長
青野 俊弘
東亜道路工業株式会社 中部支社
常務執行役員支社長

皆さん、こんにちは。

昨年に引き続き、中部支部長に就任した青野でございます。

本年は当協会設立71年目の年でございますが、歴史を尊重しつつ、時代の変化にも対応できるよう、柔軟な組織運営を図る所存です。

さて、国内経済は回復基調ではあるものの、中部の道路建設市場は縮小傾向と云われています。その様な背景の

中、数年来呼ばれている担い手不足という業界最大のリスクは一向に解消の兆しさえ見えません。「道路建設業の健全な発展」の為、我々に何が出来るかを会員の皆様と共に考え、行動しなくてはと考えております。若者や女性の入職を促すには、労働環境や待遇の改善が必要であります。その為には、長期的、安定的なインフラ整備計画が必要です。国内のインフラがまだまだ未成熟であるのは、様々な統計数字が示すところです。社会や国民の理解を得たいものです。

さて、この支部だよりが皆様のお手元に届く頃には、参議院選挙の結果が出ています。我々道路産業を始め、建設業に携わる者が更に社会貢献出来る為には、今回の選挙結果を十分に見据えて、「今、何が出来るか、何をしていけば良いのか」を考えて行く良いチャンスだとも考えております。

会員の皆様のご支援、ご協力を頂きながら少しでもお役に立てるよう努力する所存でございますので、どうぞ宜しくお願い致します。

◆幹事長新任あいさつ



幹事長
石井 直孝
株式会社 佐藤渡辺 中部支店
常務執行役員支店長

この度、日本道路建設業協会中部支部の幹事長を拝命いたしました石井と申します。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

私は中部地区で長く勤務させて頂いております。九州地区で3年間勤務しましたが、約1年前に古巣の中部地区に戻って参りました。戻って来て一番感じることは経済活動が活発であること、ものづくりを中心とした多種の産業が日々旺盛に動いていることです。

しかしながら我々の建設産業は一步取り残されているように感じます。アベノミクス効果も鈍化しつつあるなか公共工事の減少、労働者不足および高齢化、次世代の担い手確保、企業の低採算性、低休暇取得率等々まだ多くの問題が山積みとなっており、それらが建設産業の活性化を阻害しています。これらの問題に対して課題の確認を行い、経済社



会情勢の変化を踏まえつつ、若者や女性が働きやすい職場環境の整備など、魅力ある建設産業の構築等の取組みの改善検討を行い、一步でもその問題解決に繋がる活動に参画したいと考えております。

建設産業も暗い話題ばかりではありません。東海環状自動車道、東海北陸道4車線化、三遠南信自動車道、主要バイパス建設など多くの社会資本整備が急ピッチで進捗しています。また、開通は少し先ですが、リニア事業も着々と邁進しています。

道路産業は経済の交通ネットワークである道路の建設および維持修繕はもちろんのこと、大地震、台風、地球温暖化に伴う異常気象で発生する集中豪雨による水害・土砂災害など、有事の際は住民の生命と財産、生活を守る最前線に立つ地域の守り手として不可欠な基幹産業であり、地域の安全・安心の確保の観点からも社会に大きく貢献しており、誇りある産業と確信しています。

幹事長として青野支部長のもと、事務局・関係部署との意思疎通と連携を図りながら微力ではありますが、協会および会員各社の発展に努めて参る所存です。

会員の皆様のご指導、ご協力を宜しく申し上げます。